



— 卯野(うの)修三 議員活動報告 —

(1959年(昭和34年)1月3日生まれ 寺井高校卒業)

拝啓 本年2月1日に能美市は誕生20周年を迎えました。初代の酒井悌次郎市長は旧3町の融和につとめ、3期目に入った井出敏朗市長は、本市を更なる飛躍・発展へと導くべく市民に寄り添い施策を実施していますが、不肖、私こと卯野も一議員として能美の魅力を高めるため議員活動に邁進してまいります。尚、令和6年能登半島地震が発生し1年半経ちましたが、まだまだ復旧復興は遅れています。今後とも時間を創りボランティアへ行ってまいります。 敬具

「勇気・元気・やる気」+「根気・突破力」 能美市議会議員 卯野 修三 (2期目)
(会派・能美保守の会 所属)

(取得資格) 平成31年2月防災士、平成30年、令和元年と能美市の手話講座受講→手話検定5級販売士2級、実用英語検定2級、POP広告クリエイター3級、消費生活アドバイザー(産能大・通教修了)のみ検定上級、ふるさと小松検定初級、金沢検定初級、白山検定初級、加賀ふるさと検定初級 取得

<令和6年 能登半島地震・水害ボランティア支援>



◆令和6年10月10日
第16回
輪島市二勢(ふたせ)町



◆令和7年1月17日
第17回
輪島市南志見(なじみ)



◆4月13日 第18回
輪島市町野町佐野
(土砂撤去)



◆令和6年10月20日
石子町で防災講演会
(石子町公民館)



◆11月12日
(会派・能美保守の会)視察で
沖縄・OISTへ
(沖縄科学技術大学院大学)



◆令和6年9月26日に復活した
能美市唯一の銭湯寺井湯代表
の神並(かんなみ)さんと



◆令和6年9月16日
小泉進次郎代議士と
(金沢市・ホテル日航金沢)



◆令和6年11月25日
橋本聖子参議院議員と
(能美市)



◆令和7年3月3日
宮窪大作氏・富山県庄川町出身
(全国商工政治連盟)



◆令和6年10月26日
木場潟マラソン大会・6.4km
(昨年に続き2回目のラン)



◆2月23日
寺井高校吹奏楽部
定期演奏会で同窓会長挨拶
(根上タント音楽ホール)



◆1月23日
寺井町の中町の
いきいきサロンで挨拶
(辰口福祉会館)

令和6年12月 議会・定例会 一般質問 一問一答形式 12月5日

質問

◆物価高から市民生活を守る経済対策について◆

①今後の能美市の経済対策は(9月の消費者物価指数が2020年を100として108,9となった)

答え

産業交流部 中川部長 国の動向、市民の声、地域の具体的な状況を把握し適切な対策をスピード感をもって検討する。

卯野は思った

物価高による買い控えが進むなか、**補正予算を組み**年度内から対策を講じるべき。

質問

②過去6回実施し、市民にも事業者にも効果を上げている経済対策の「応援特典券」を実施すべきと考えるが見解は。

答え

産業交流部 中川部長 「応援特典券」の令和2年度の第1回目の利用率は54,6%だったが、令和6年度の第6回目は配布方法を直接世帯主に届くDM方式に変更したこともあり71,6%に上昇した。「応援特典券」は市民への生活支援や小規模店舗への支援など地元経済活性化に効果的であるが財源が課題である。今後、国の動向を注視しながら最善の一手を模索していきたい。

卯野は思った

実施する場合は、参加店舗が一目でわかる「**のほり**」を店頭につけるべき。

質問

③市内の農業従事者の経済安定に対する補助金についての見解を問う。

答え

産業交流部 中川部長 コシヒカリの肥料は令和3年～5年にかけての3年間で約90%高騰したが、市では令和4年12月補正予算で国の事業を活用し、県と市の補助金を合わせて、令和4年秋、令和5年春の肥料に対するコスト上昇分の95%を支援した。昨今は、国・JA全農の対策により令和6年の価格は抑えられた状況とのこと。他方、令和6年産の米の価格は、対前年同月比34%増となり、農業従事者からは「この価格が安定すれば、若年の担い手が増えるのでないか」との声も聞いている。

卯野は思った

能美市にとって大切な**農業の継続的な支援**が今後必要。



能美応援特典券
(令和7年4月25日～7月31日実施)

質問

◆市職員の働き方改革と新規応募者の増加策について◆

①職員が働き甲斐をもってポジティブに仕事を続けていくためのカギとなるエンゲージメント(職場への愛着心)の高め方について見解を問う。

答え

井出敏朗 市長 働き甲斐のある職場を実現するために、私(市長)を含めた管理職(課長・課長補佐)と一緒に研修を実施、参加した。私自身が先頭に立ち政策ビジョンの浸透に努め、一体感の醸成に取り組み明るい市役所づくりに取り組みたい。

卯野は思った

2022年度に全国の自治体議員で自己都合で退職した公務員は12,500人、10年前の2倍以上。
この現状を踏まえ、**組織のトップは脚下照顧すべき。**

(裏面もご覧下さいませ)

質問

②市職員の副業について現状と見解を問う。

答え

総務部 橋場部長 職員の地域活動参加は、市民の声を聴く良き機会と考えている。今後、市職員が報酬を得た地域活動に従事する場合、職務の公正確保など制限される範囲が明確でなく、今後基準を設ける必要があり、弊害を見極める。

卯野は思った

能美市も基準を設けて、**職員が参加しやすい環境づくり**が必要。

質問

③兼業による民間人材の採用で職員のスキルアップ・意識改革に結びつかないか。

答え

総務部 橋場部長 能美市において地域活性化企業人や企業版ふるさと納税を活用や民間IT企業から人材を派遣いただいており、課題解決に尽力いただいている。今後、登用により見込まれる効果を見極め、先進事例を研究していきたい。

卯野は思った

福山市では2018年に民間高度専門人材を戦略推進マネジャーとして登用した。職員間の意識改革に**民間人材登用は必要**。

質問

④市職員の新規応募者を現状より増加させる方法について「オヤオリ」(内定が決まった後、親に対してオリエンテーション)などをして親にも理解いただき、中途退職者を減少させる対策について見解は。

答え

総務部 橋場部長 職員募集は広報のみ、市公式LINEなど様々な広報媒体を活用していることと、又、新人職員が作成した職員募集パンフレットは学生が能美市を選ぶインセンティブ(動機づけ)になっている。

卯野は思った

能美市役所で働きたい学生を一人でも多く増やしてほしい。

質問

◆奨学金返済支援制度について◆

大学卒業後、能美市に在住し市内の企業に正社員として就業した方のために、奨学金返済支援制度を創設すべきと考えるが見解を問う。

答え

教育委員会 森管理局長 次年度に向け、借入時の連帯保証人の要件の緩和、市内企業に就職した場合、奨学金の返還を一部免除できないかなど、返済支援制度の拡充は市の発展に貢献する人材を確保する観点から有効であり定住促進の観点からも検討していきたい。

卯野は思った

翌日の地元新聞でこの質問は大きく掲載された。敦賀市での先進事例も参考にしてほしい。

12月議会の一般質問の
まくら(冒頭)での発言



岸田前首相が言われたアフリカのことわざ「早く行きたければ一人で行け、遠くまで行きたければみんなで進め」能美市としても、市民・市職員とともにワンチームで進もう！

令和7年3月 議会・定例会 一般質問 一問一答形式 3月17日

質問

◆ふるさと住民登録制度について◆

ふるさと住民登録制度で関係人口の増加を図り、能美市が目指す移住定住の促進につなげるべきと考えるが見解を問う。

関係人口とは、移住した定住人口でなく、観光に来た交流人口でもなく、地域に多様にかかわる人々のこと。

答え

企画振興部 米脇部長 昨年末に政府の地方創生会議で提案された本制度は、二地域居住など注目されていますが、一方で住民税、選挙権など実現するには課題も多いと認識していますが、今後国の動向を注視していきたい。

卯野は思った

石破首相は1月24日の施政方針演説で、馳知事は12月26日の記者会見で、関係人口を取り上げています。**今後「関係人口」は人口減少が進むなか、重要なキーワードになります。**

質問

◆能美市の都市計画について◆

①【寺井中央地区】平成4年、当時の中田良三町長の6期目の政策の一つとして、旧8号線の東側の田んぼ2万坪を中央公園にして内外の大型イベントを開催できないかと、中央公園構想が提案され、その後平成9年、酒井梯次郎町長時代にはタウンスクエア構想となったが平成11年3月に凍結された。その後の状況を問う。

答え

井出敏朗 市長 現在は農業振興地域農用地や除外された公共施設用地に限定されており、都市計画マスタープランにおいては田園地帯に位置づけられている。市としては財政上の理由からも早期の利活用は難しいが、当該地域は能美市の中心に位置し交通の利便性も高く、公共福祉施設などが集まり多彩な都市機能を集積する場所なので、今後中長期的に取り組むべき課題として検討していきたい。

卯野は思った

この場所は寺井の中心という枠を越え、能美市の中心です。ぜひ大所高所の検討を！

質問

②【寺井東部地区】佐野町を含む寺井東部地区の都市計画のゾーニングについて、2027年度からスタートする第3次能美市総合計画の中で多面的に検討せよ！

答え

企画振興部 米脇部長 東部に位置する湯野地区は、温泉も湧き出て伝統工芸九谷焼に関連した施設が集積し、観光交流の拠点としての快適居住の地域と定め、地域共生の施設建設も予定している。近年、能美東西連絡道路が整備されたことで生活の利便性も増してきた。この地域の事情を踏まえた上で、あらゆる可能性を模索して方針を定めたい。

卯野は思った

佐野町・湯谷町・泉台町・石子町の**4つの町の住民の意見**をしっかりと聞き、積み上げてほしい。

質問

③【寺井北部地区】新保町地区北部の産業集積ゾーンの企業の進出の諸般活動の現状と課題は何か。

答え

産業交流部 中川部長 現在産業用地の問い合わせいただいた企業からは、①県道松任寺井線(旧8号)以西の幹線道路や、②近隣の住環境に影響の少ない立地を望む声が多く、新保地区への進出意欲の高い企業が現れていない現状です。引き続き当該エリアの開発について、企業の動向・ニーズを踏まえ積極的に対応していく。

再質問

企業誘致推進室を商工課から独立して、一つの組織として対応せよ。

答え

産業交流部 中川部長 現在、企業誘致推進室には担当職員2名、課長は兼務で1名いて企業との交流に今後もしっかり取り組んでいる。

卯野は思った

産業集積ゾーンになっているのに、**新保町地区**だけ企業が進出していないのは誠に残念。**営業をさらに進めるべき。**

能美市議会議員 卯野 修三

〒923-1121 石川県能美市寺井町ラ16

TEL (0761) 58-5811 FAX (0761) 58-5812

メルアド uno0905@tvk.ne.jp

うの修三

検索



卯野修三



ホームページ



Facebook



Instagram

3月議会の一般質問の
まくら(冒頭)での発言



学校昼食導入予定、特別支援学校設立予定で、本年創立60周年を迎える寺井高校の歴代校長の一人からいただいた言葉を紹介します。

「**雨垂れ石を穿つ**」^{うが}「小さな努力を根気よく

続けていれば、夢は叶う」という意味です。本日も一般質問がんばります。